

# 安全対策委員会を発足し活動

安比高原スキー場

安比高原スキー場ではスノーボード全面解放を実施し、二年が経過しようとしています。ボーダーの入場者も昨シーズンは、全体の八%～十%でありますましたが、今シーズンは十五%～十七%と年々増加しております。また、ケガについても件数ではスキーヤーよりも少ないとデーターをもとにゲレンデに限らず、また、スキーヤー・ボーダーに限らずスキー場全体に視野を広げケガの原因となる情報を収集し、事故防止に取り組む「安全対策委員会」を発足し

## ルール・マナーの注意文 ゴンドラ搬器内へ掲示



への掲示を実施し、利用者へ伝えております。特に昨シーズンはゲレンデ外を滑走する違反者が後を絶たない為、今シーズンは違反者に対しぐれを没収する事を決定し強い姿勢で望んでいます。

昨シーズンに比べ違反者はだいぶ減少しておりますが中には捨て身といわんばかりに、最後の一本で違反を犯しチケットを差し出して帰るという悪質な利用者もいます。

スキー客もスキー場を選ぶと同時に、ある意味ではスキー場側もスキー客を選んでもよいと思いまます。機会がありましたら皆さんよりご意見をお聞かせて戴きたいと思

ます。

◆受験の動機 昨シーズンのこと、ス

キ学校で五～六才の子供六人を指導していた時

、その中の一人が転倒し

た際にスネを打つたらしく、痛がって顔をしかめ

ていた。その時にどうすれば良いか分からず、ケガをさせてしまった事で頭の中が真っ白になってしまった。近くにいた別の指導員と一緒にパトロール員室へ連れていくのがやつとだった。この時自分で判断し行動できなかつた事がなきなく思え、来年はきっとパトロール資格を取るぞという気持ちにさせたと思う。

◆養成・強化講習 「まず足慣らし」という講師の言葉でリフト乗り場までノンストップ。

ここまでは良かったが、「足慣らしパートII」の声

でブルークのまま同じコースを滑る。股関節が痛

いといっぱいだった。

しかし、そんなことを考

える余裕も無く一番

スタート、頭の中が真っ白のまま気がついたらゴ

ールしていた。

まず自分の知識、技術

を維持向上させる事を前

提とした上で、パトロー

ルとして活動していきた

い。

多発しているボーダー

関連の事故防止のため、

理解してもらえるルール

やマナーを伝えるために

スノーボードの技術も身

につけてみたい。

強、練習して来たので心配はなかった。心配のはボートの搬送技術だつた。結局、講習会以外でのボートの練習は出来ず

に本番に望んだため「講習会はうまくできません、

いざ本番では」という思いでいっぱいだった。

## 盛岡市・鈴木幸一 安全対策委員会活動

◆受験の動機 盛岡市・鈴木幸一

く足が広がらない、スピードは出るし、前の人には追い越すや止まれないや

で、制動のブレーキが出

来なかつた。また、初め

てスノーボートに触り、

カラのボートも降ろした

事のないのに人を乗せて

降ろす。重いわ、手の握

力が無くなつてくるわで

ハンドルから離れそうだ

った。

強化講習最後の日、最

後の項目でボートを降ろ

した。

後で、近くでケガ

人発生、講師の方が「ケ

ガ人を降した経験がない

つて言つてましたね」の

一言で、本当のケガ人を

陥るところになる。自分

で大丈夫だらうかとい

う心配はあつたが無事に隣

ろせた。この事が自信を

持たせしてくれたのだと

思う。

◆受験

学科やロープ、三角巾

は自分の納得いくまで勉

1997年度(36期)  
SAJ公認スキー合格者  
氏名 年齢 所属  
及川 和也 58 一関見平  
小岩 正治 50 国見平  
田代 達也 45 国見平  
鹿糠 律子 40 八幡平  
鈴木 幸一 39 岩手山  
武田 良治 38 沖縄  
長谷川信之 36 夏八幡平  
佐々木由美子 32 夏衣川村  
辰巳 浩輝 29 石比  
外崎 勝彦 25 雪安  
長坂 順 23

